

2 確かな学力の向上に関して

- ① 地域性や環境等によっても生じるであろう学力格差を、少しでも縮める手立ては。

(回答 指導課)

ぜひ身に付けてほしい基礎・基本の問題集「学びノート」を作成し、小学校の国語、算数については、全児童に配布し、活用を促しています。

また、小学校3年生以上の希望者を対象として、学びノートを活用した「学びノート教室」、中学校では夏休みに希望者を対象とした「学びノート教室」をそれぞれ開催し、地域性や環境等に関係なく学力向上が図れるよう取り組んでいます。

さらに、平成25年度より、学力向上に向けて支援が必要な小学校に学力向上支援員を派遣し、算数の授業に参加し、子どもたちに直接指導を行っています。

- ② ゆとり教育で減らされた内容が復活し、子どもも先生も時間的負担が大きいに感じます。行事を減らすのには反対です。土曜日の授業復活はできないでしょうか。

(回答 指導課)

本市においては、学習指導要領改訂に伴う授業時数の増加に対応するため、平成23年度より、長期休業(春休み、冬休み)を3日短縮いたしました。また、各学校では、学校行事の精選や見直しを行い、これらのことを通して、標準授業時数を確保しているところです。

本市においては、現在、家庭・地域との連携による開かれた学校づくりを推進していくために、土曜日に授業参観や公開授業を実施しており、現在は、土曜に授業を行った全校が、授業日の振り替えで対応しております。

土曜日授業を実施する場合は、子どもの振り替え休日がないことから、以下のことが課題として考えられます。

- 1 児童・生徒の負担増となり、授業への集中力の低下が考えられる。
- 2 土曜日に行われている地域の様々な教育活動や行事などとの調整が必要。

以上のことから、土曜日授業の実施については、現在のところ導入の予定はありません。

- ③ タブレットの導入等、ICT教育を積極的に進めている学校・地域を見聞します。本市で実施しているところがありますか。また、本市の方向性等をお聞かせください。

(回答 教育センター)

国の情報通信技術戦略や文科省の教育の情報化ビジョンにおいて、各種情報端末・デジタル機器などの活用によ

る教育の情報化を推進する中、本市では、教育の情報化をテーマとした研究指定校において、数台ずつ、タブレット端末を普通教室で学習に活用するなど、ICT教育に関する検証を進めているところです。

教育の情報化には、LAN環境などのインフラ面や個人情報保護などセキュリティ面の整備が必要となり、費用面や効果的な活用など運用面に、様々な課題が想定されることから、国の動向や研究指定校の検証結果を踏まえながら今後の方向性を検討して参ります。

- ④ 英語の正式教科化に向けて、現在と今後の方向性についてお聞かせください。

(回答 指導課)

1 現在について

教科化に向けた国の動き等、正確な情報や先進的な取り組みをしている本市の学校の取り組みの成果等を共有しながら、準備を進めています。

具体的な取り組みは以下のとおりです。

- ・富合小中一貫教育や植木地区の全小学校の英語学習における取り組みの成果等の活用
- ・ブラッシュアップセミナー等での英語教育の小・中連携をテーマとした研修実施
- ・幼・保、小、中連携の日に外国語部会を設置し、指導方法や指導計画等の連携
- ・文科省「英語教育強化地域拠点事業」のモデル校(錦ヶ丘中学校区の小、中学校と必由館高校の5校)における今後の英語教育についての研究
- ・ALTとの効果的な授業研究

2 今後の方向性について

今後は、平成25年12月に文科省から発表された英語教育改革計画に関する国の動きを注視しながら、教科化に向けた準備を行います。

具体的な取り組みは以下のとおりです。

- ・教育課程特例校や英語教育強化地域拠点事業での取り組みの成果や課題等の共有と実践
- ・中学校英語の入門期「発音とつづり」に特化した学びノートの作成及び小学校における文字の導入につながるような研究
- ・英語教育推進リーダーによる研修実施予定

→以下は次号へ



